

# 令和元年度事務事業評価シート

取組みコード 42211

区分	補助金・交付金	担当課	生涯学習課	作成日	令和元年5月15日
事業名	文化会館事業協会補助金		開始年度	昭和58年度	予算科目 9.4.4.5.1

## 1 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり
章	第2章 生涯学習と地域文化の創造
節	第2節 地域文化の振興
基本施策	1 文化活動の推進
取組みの基本方向 (1)優れた芸術活動に接する機会の提供	
根拠法令等	
目的 (誰・何を対象に、何のために)	愛川町文化会館を利用した芸術文化事業を実施する「愛川町文化会館事業協会」に対し補助金を交付し、町民文化の向上に寄与する。
内容・方法 (何を行っているのか)	文化会館事業協会に補助金を交付している。同協会は、文化会館ホールを利用し、多彩な催し物の中から町民のニーズに適合したもので、ホールの収容人員の制限、予算等を総合的に勘案して子どもから大人まで多くの町民に楽しめる催し物を提供している。催し物の内容については、「文化教養」「大衆娯楽」「子ども向け」の3ジャンルに分類し、3カ年間のローリング方式で年度ごとに各分野に偏りがないように選定している。

## 2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名	基準年度	令和4年度			
		『地域文化の振興』について、「満足」と感じる住民の割合	41.0%	44.0%			
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果		多くの住民が良質の催し物に接することで、地域文化の振興につながることを。					
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(平成28年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度
平均入場者数	増	入場者数の平均値 計画値:販売枚数 実績値:入場者数	計画値		434.0	434.0	434.0
			実績値(見込値)	434.0	301.0	441.0	
			達成度※自動計算		69.4	101.6	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動		本事業は補助金の給付のみであるため、町の活動としては、申請書の受理、報告書の審査等であることから、活動指標の設定は行わない。					
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画値				
			実績値(見込値)				
			達成度※自動計算		計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

## 3 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算) (平成28年度)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算見込)	令和元年度(予算)
(A) 事業費(円)	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
(B) 概算職員数(人)	0.100	0.100	0.100	0.100
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	830,000	830,000	830,000	830,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	4,830,000	4,830,000	4,830,000	4,830,000
単位当たりコスト ※自動計算	11,129.0	16,046.5	10,952.4	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	473,520	0
一般財源 ※自動計算	4,830,000	4,356,480	4,830,000	4,171,000

#### 4 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
<b>妥当性</b> (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である		C
	民間サービスと同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない		
	国や県において実施している事業との重複がない		
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの低下や変質がない		
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である		
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
	事業・サービスの対象者の日常生活に必要な事業である 上記のいずれにも当てはまらない		
<b>有効性</b> (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成30年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
<b>効率性</b> (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができています (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減、成果アップ	A
<b>有用性</b> (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	C
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高くない	
<b>総合評価</b> ※自動判定		改善すべき点がある	

#### 5 特記事項

--

#### 6 自己評価(担当課)

評価結果	改善
理由	町民ニーズが多様化している中で、限られた予算で事業を企画立案し実施しているが、催し物の内容によっては満席とならないものもある。そのため、補助金を有効活用できるよう、催し物の企画立案の工夫・改善が求められる。
今後の方向性	本協会は開館当初から良質な芸術文化を安価に提供してきたが、町民ニーズの多様化や、町外の他の文化施設での鑑賞、さらにはDVDやインターネットの普及に伴う鑑賞方法の変化などにより、限られた予算の中で常に満席に近い集客を見込むことが難しくなっている。今後の運営にあたっては、各分野に偏りがないようなバランス重視の催し物の選定にこだわらず、時代のニーズに見合った集客が多く見込めるジャンルに集中して予算を投入していく必要がある。

#### 7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	改善
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性に加え、引き続き他団体主催行事の誘致をメインにするなど、効果的な催しができるよう協会と協議を行うべきである。

#### 8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	改善
今後の方向性に係る意見等	

#### 9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

平成29年度に実施したNHK「ふるさと自慢 うた自慢」のような他団体主催行事の誘致に引き続き取り組むなど、時代のニーズに見合った効果的な催しができるよう事業協会と協議・検討を行っていきたい。
---

#### 10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	改善
理由・改善方針	引き続き、他団体主催行事の誘致に積極的に取り組むなど、効果的な催しができるよう協会と協議を行う。